

中部支部

私たちの中部支部の活動は毎月1回（原則として第3土曜日）の月例研究会と随時に開く懇親会、懇親旅行、ソフトボール大会などのノンアカデミックな催しとから成っております。毎月の研究会も活発でその報告内容も以下に記すように多種多岐にわたっております。支部の特長として、他の支部の方から言われることは、会員同士の家族的雰囲気は掛替えのないものと秘かに自負しております。以下、55年度の主な活動を報告します。

4 月度研究会

テーマ 小型コンピュータの信頼性

報告者 佐々木一彦氏（中部工業大学）

報告者の長年にわたる実務的経験にもとづき、実際の資料を中心としたミニコンの信頼性についての報告

5 月度研究会

テーマ 生産管理に対する数学モデルの適用事例

報告者 上田恭嗣氏（三菱自工）

自動車組立ラインでの部品補給システムの報告

6 月度研究会（講演会形式）

テーマ 線形計画法の新解法について

報告者 伊理正夫氏（東京大学）

伊理先生によって本誌にも紹介された線形計画法における Khachian の新解法の解説とそれをめぐる話題。最近の最もホットな話題であり、多項式で収束する難解なアルゴリズムの本質をわかりやすく理路整然と解説していただいた。また、1979年、モントリオールでの数理計画法に関する第10回国際シンポジウムの話題にも言及していただき大変有意義な講演会であり会場は超満員で中部支部以外（東京と大阪）から馳参じた会員もかなりあった。

7 月度研究会

テーマ 適用業務開発過程の管理

報告者 杉岡 暁氏（日本IBM）

テーマ データ・ディクショナリー

報告者 田中典生氏（日本IBM）

8 月度研究会

テーマ がんばれ！ アメリカ企業

報告者 藤田精一氏（テネシー工科大学）

9 月度講演会

テーマ オートマトン理論とその応用

報告者 本田波雄氏（名古屋大学）

オートマトン言語理論の平易な解説と情報科学の諸分野への応用についての報告。

10月は秋期研究発表会のため休み。

11 月度研究会

テーマ 要員配置計画への数理的手法の適用

報告者 松村鶴彦氏（東レ）

自社工場での配員配置の実施例を数理計画法の適用とその実施上のいろいろな問題点についての報告。

12 月度研究会

テーマ Stochastic Optimal Control とその応用

報告者 市川 朗氏（静岡大学）

1 月度講演会

テーマ 経済時事問題について

報告者 飯田経夫氏（名古屋大学）

年3回の講演会の中で1回はOR関係者以外の人に講演を依頼しているが、今回は日本経済と外国の経済事情にくわしい飯田先生に、日本経済と日本的経営の特質、その将来性について外国の経済体制と比較しながら講演していただいた。

懇親旅行 9月20、21日、鈴蘭高原への懇親旅行は中部支部の楽しい年中行事であり、大学関係者と企業の方々々がアカデミックな、またはノンアカデミックな議論を夜遅くまで交した。次の日の朝は眠い目をこすりながら好天気の下の高原を散策した。参加者11名。来年の春期研究発表会は中部支部で開催されますが、その節は皆様多数のご参集をお待ちしております。（文責 沢木）

●ミニミニ●

●OR●

開校記念日

うちの息子が通っていた小学校は、開校記念日が4月30日であった。ところが息子が進学した中学校は、開校記念日が5月4日であった。隣の学区の中学に進学した子の場合、開校記念日が5月2日だと言う。…！…。

これはちょうど春の連休の時期にあたるが、学校の授業の節目とあまり関連があるとは思えない。このような開校記念日の設定は、学校の教師たちが、連休をつなげるために意図したものであるという仮説を棄却することが可能だろうか。

仮説検定の練習問題として読者諸君に呈しておこう。（小野勝章）